



平成20年2月24日
宇宙航空研究開発機構

超高速インターネット衛星「きずな」(WINDS)の 軌道計算結果と第1回アポジエンジン噴射予定について

「きずな」の軌道計算を行った結果、衛星が所定の第1トランスファー軌道に投入されていることを確認しました。以下に軌道計算結果を示します。

	決定値※	計画値※
遠地点高度	36,007 km	(35,995 km)
近地点高度	249 km	(249 km)
軌道傾斜角	28.51度	(28.50度)
周期	10時間36分	(10時間36分)

※数値は表示桁数未満切捨て

今後、アポジエンジン噴射を4回に分けて実施し、第2、第3、第4及び第5トランスファー軌道を経て、20Nスラスト噴射によりドリフト軌道への投入を行う予定です(添付参照)。

第1回アポジエンジン噴射については、平成20年2月24日9時28分(日本時間)頃から約88分にわたり実施し、第2トランスファー軌道へ投入する予定です。

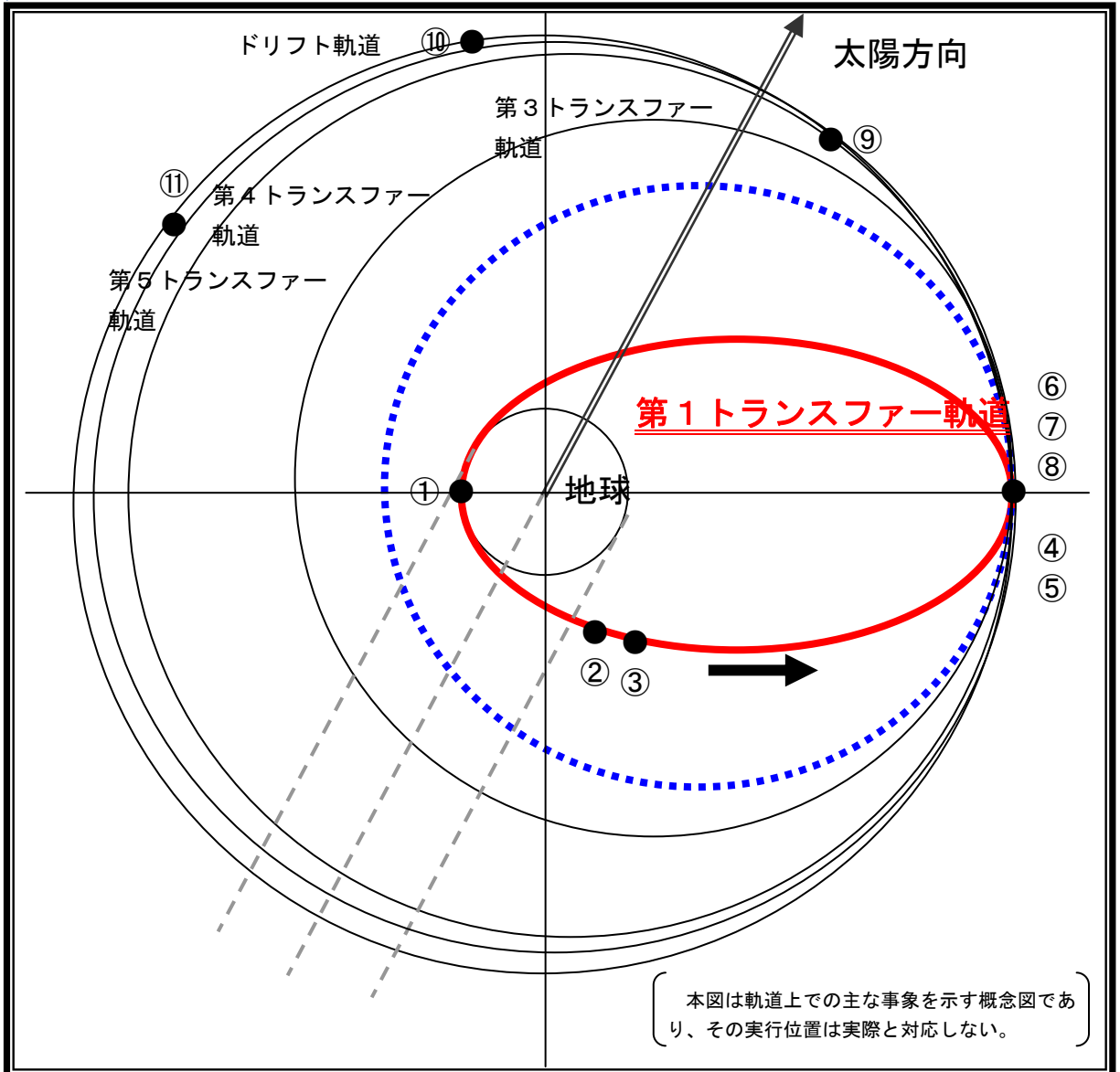
なお、現在、衛星の状態は正常です。

(補足)

- ・トランスファー軌道：衛星がロケットにより打ち上げられた後、最終的な静止軌道に投入されるまでの間に一時的に投入される軌道。
- ・アポジエンジン：トランスファー軌道上の遠地点(アポジ点)付近で噴射し、衛星軌道の近地点高度を上げて静止軌道に近づけるためのエンジン。
- ・ドリフト軌道：静止軌道に投入される一歩手前の段階の高度約36,000kmの円軌道。

(次回のお知らせ予定)

第1回アポジエンジン噴射の結果については、2月24日12時00分(日本時間)頃にお知らせする予定です。



イベント	周回数
①第2段／衛星分離	1
②太陽電池パドル展開	1
③太陽電池パドル太陽捕捉	1
④第1回アポジエンジン噴射	2
⑤第2回アポジエンジン噴射	4
⑥第3回アポジエンジン噴射	6
⑦第4回アポジエンジン噴射	7
⑧2ONスラスタ噴射	9
⑨MBA（マルチビームアンテナ）展開	10
⑩三軸姿勢制御移行	10
⑪パドル回転開始	10

「きずな」の飛行計画